



ひかり

＝めざす子ども像＝
心やさしい子
進んで学ぶ子
体を大切にする子



「ひかり」

9月に入りましたが、まだまだ残暑が厳しい日が続いています。学校ではコロナの感染防止策と暑さ対策に奔走しています。教室の換気に注意しつつ、特別教室のエアコンの冷気を廊下を送ったり、扇風機や教材の送風機を活用したりと、少しでも子どもたちが活動しやすいよう工夫をしています。



さて、代々引き継がれている学校だよりのタイトル「ひかり」ですが、どこから来ているのかと疑問に思っていました。その答えが校歌の中に隠されていたので紹介します。

昭和62年に発行された『校歌は生きている』（市川市教育委員会編）という本の中に、以下の内容が記載されていました。

～ぬけるような青空である。教室からは東京湾の海が大きく広がるのが見え、3階のベランダからは富士も、そして房総の山々も遠くかすんで見える。目を真下に転じると宮内庁新浜鴨場である。緑の森が幾重にも続き、その向こうには工業団地の屋根が見え、塩浜団地の高層住宅が林立している。校庭には、光がいっぱいあふれていた。その周辺には、住宅らしきものはない。高層住宅が建ち並び、新しい行徳の町からは想像もつかない風景がそこにあった。～

南新浜小の校歌には、子どもたちが「ひかり輝くよう成長してほしい」という願いが込められて作られたのを感じました。今、子どもたちは大きく伸びています、自主的に考え活動できるよう支援していきたいと思います。ご家庭でも先回りせず、子どもの主体的行動を温かく見守るようお願いいたします。



◆大盛況！！ 6年「水鉄ぼう大会」

修学旅行が中止となり、様々な行事が制限されているため、6年生には、思い出に残るような活動や今年ならではの学習を考え、提案してほしいことを伝えました。すると、第1弾として「水鉄ぼう大会」の立派な企画書を提示してくれました。目的も、6年生の親睦を深めることや思い出作りをすることなど、しっかりと考えが記載されていました。大会の当日は、楽しそうに活動し絆も深められたことと思います。



◆クラブ・委員会活動開始

学校開始が遅れたため、なかなか活動できなかったクラブや委員会活動がスタートしました。4年生にとっては初めてのクラブ活動です。5, 6年生に交わり、少し緊張しながら役員決めや活動計画の話し合いに参加していました。その後、早くも活動を始めたクラブもありました。2日には学校の自治活動の中心となる委員会活動も開始しました。5, 6年生が各委員会に分かれ、主体的に活動していました。その活動ぶりは、‘さすが南新の高学年、と思わせる働きぶりで目を見張るものがありました。

